

平成 19 年 9 月 26 日  
株式会社バルク

## デザイン分野の研究新手法『右脳リサーチ』始動！

株式会社バルク（本社：東京都中央区、代表取締役社長：村松澄夫、以下バルク）は、マーケティングリサーチの新手法『右脳リサーチ』サービスを平成19年9月から本格稼働いたします。

『右脳リサーチ』は、インターネット上で画像を直感的に評価・選択するための画期的なデザイン評価手法です。

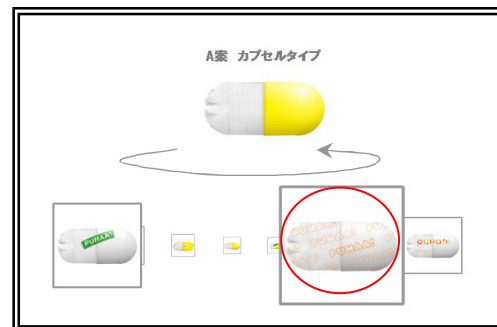
バルクでは、昨今商品企画分野でのデザインの重要性の高まりを背景に、コストパフォーマンスの良いインターネット上での感性的・直感的なデザイン評価のニーズをうけ、成城大学経済学部神田範明教授らの監修を受け研究を続けてまいりました。

インターネット調査では、回答者の態度や回答時間をコントロールしづらいこと、選択肢の表示位置・並び順による回答誤差の影響が発生しやすいこと等により、正確なデザイン評価は困難とされてきましたが、『右脳リサーチ』ではFLASH技術を活用することにより、WEB画面上で対象物を移動・回転させながら評価選択を行うことで、リサーチ時間の短縮と回答誤差の軽減を実現し、効果的なデザイン・ブランド評価を可能にしています。

### ◆『右脳リサーチ』イメージ図

FLASH技術を活用し、WEB画面上で対象物を移動・回転させながら評価・選択を行います。

実際に動くイメージ画像はこちら→



[http://research.vlcrew.com/brain\\_sample/A1/index.html](http://research.vlcrew.com/brain_sample/A1/index.html)

### ◆『右脳リサーチ』と従来のマーケティングリサーチ手法との比較

	対面・面接調査 デプスインタビュー グループインタビュー	静止画像による インターネット調査	移動・回転する画像による インターネット調査 (右脳リサーチ)
感性による直感的判断	○	×	○
評価時間・情報の コントロール	○	△	○
多サンプルの収集	×	○	○
コスト	×	○	△

◆ 『右脳リサーチ』の特徴

- ・直感的・感性的な選択を得ることができる
- ・表示位置・並び順の影響による回答誤差を軽減できる
- ・回答者の調査対象への関心を高め、おざなりな回答を減少できる
- ・少ない画面範囲で全体を表示できる、回答者のストレスが軽減できる

◆ 『右脳リサーチ』開発協力機関

<監修>

- ・成城大学 経済学部 神田範明教授  
(日本品質管理学会)
- ・京都工業繊維大学 繊維学部 西澤明洋講師  
(株式会社エイト代表 2007ウェブデザインアワード グランプリ受賞 日本デザイン学会会員)

<技術協力>

- ・株式会社クリエイティブリンク

◆ 「バルクのデザイン調査に期待します」

成城大学 経済学部教授 神田範明氏

私の提唱している「商品企画7つ道具」の中でも、消費者の視点で市場調査を行うことの重要性は強調してきました。

バルクさんもお得意のインターネット調査が普及することで、今では様々な企業で手軽にアンケート調査ができるようになり、商品企画の世界でも日本企業が高いレベルで世界と競争できる環境は整ってきたと思っています。

しかし残念ながら、デザイン分野は商品企画の要素として非常に重要であるにもかかわらず、まだ市場調査が十分に活用されているとはいえません。

その理由のひとつは、多くの日本企業がデザインの重要性を十分に認識していないこと。そしてもう一つの理由はデザインの分野では、コストパフォーマンスに優れたインターネット調査を使うことがむずかしかったからです。

バルクさんの試みは眼の付け所がよく、また興味深い結果もでていると思います。今後も、日本企業の商品企画力を高めていくため、バルクさんの研究に協力を惜しまないつもりでおります。

京都工業繊維大学 繊維学部講師 株式会社エイト代表 西澤 明洋氏

今デザイナーは、商品開発において、より市場を深く読み解く力を求められています。それは商品開発においてデザイナーの果たす役割が、商品の外面的良さを提供する事だけにとどまらず、商品を取り巻く環境要因（競合他社との比較、ターゲット層の好みのトレンド変化等）に対する問題解決の領域にまで広がってきているからです。

そんな中、われわれは「デザインリサーチ」というデザイナー視点での市場調査を、商品開発のプロセスに組み込んでいますが、「右脳リサーチ」というバルクさん独自のリサーチ手法には特に注目しています。このシステムは、デザインワーク時に我々の視野を広げてくれると同時に、デザインの中で最も難しいとされるデザイン案決定のプロセスでも、有用な指針となりえる可能性があると感じています。

今後とも、バルクさんが提唱される「右脳リサーチ」を、より洗練されたシステムとしていくことに、デザイナーとして、またデザイン研究者として大いに協力していきたいと思っています。

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社バルク MR事業部 担当 小櫃（こびつ） TEL : 03-5649-2533